科目名	3級造園技能士資格対策							年度	2024
英語科目名	Level 3 landscaping technician qualification measures							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 1年次	必/選	選1	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	佐藤武久、谷合光男	教員の領	 実務経験	有	実務経験	険の職種	造園施工	. (佐藤、	(谷合)

【科目の目的】

3級造園技能士の資格は、造園に関する基本的な技能と知識を有する技能士を認定するためのものです。この資格取得を目指す 者は、一定レベルの造園技術を身に付け、さまざまな造園作業を適切に行う能力があることが求められます。3級造園技能士資 格の取得を目的とします。

【科目の概要】

- 3級造園技能士資格の科目目的は、造園に必要な基本技術と知識を習得し、植物の管理、機械操作、設計施工の基礎を学び、安全かつ効率 的な造園作業ができるようにすることです。また、環境保全と持続可能な造園方法も重視します。

【到達目標】

造園概論では、次の3つを到達目標とする。 ①造園計画のプロセスを理解する

- ②計画立案に必要な知識・法規等を理解する
- ③造園計画の基本的な考え方を理解する

【授業の注意点】

造園技能士の授業では、安全第一を徹底し、機械の正しい操作方法を学ぶことが重要です。また、実践的な技術の習得には実地での演習が不可欠であり、指導者の指示に従うこと。さらに、環境への影響を考慮した作業方法を意識し、持続可能な造園技術 の理解を深めることが求められます。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル 2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	高度な技術を駆使 し、創造的な作業が できる。		複数の技術を自立し て操作でき、問題解 決ができる。		基本的な技術の操作 ができるが、指導が 必要。		
到達目標 B	安全文化の促進者と して、周囲への啓蒙 も行う。		安全規則を自発的に 遵守し、他人への指 導もできる。		安全規則の基本を理 解しているが、注意 が必要。		
到達目標 C	持続可能な造園技術 の開発と実践に貢献 する。		環境への影響を考慮 した作業を計画・実 施できる。		環境保護の基本的な 知識がある。		
到達目標 D							
到達目標 E							

【教科書】

3級造園技能検定受験の手引き日本造園組合連合会

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

課題の到達度、提出状況、授業への取組等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		3級造園技能	年度	20	024			
	英語表記 Level		3 landscaping technici	an qualification measures	学期	前	期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	己評	
	1 造園基礎と導入	造園の基本的な理念と 歴史的背景を理解す る。	1 造園の歴史と文化的意 1 義	造園の基本用語の理解と使用				
1			2 造園に関わる主要な概念と 用語	造園デザインの基礎を把握				
			3 造園デザインの基本的な要 素とスタイル	告園の歴史的背景に基づくインスピレーションの得方				
	2 土壌学と地質	土壌の種類と特性を 理解し、適切な土壌管 理技術を学ぶ。	解し、適切な土壌管 2 土壌の種類とそれぞれの特 土壌改良技術の適用					
2						1		
			3 土壌のpHと栄養素のバランス	pH調整と肥料の選択				
	3 植物学基礎	主要な植物群の特性とその生育要件を理解する。	1 植物の分類と特徴	植物の選定と配置				
3			2 植物の生育サイクルと繁殖 方法	病害虫の早期発見と対策				
			3 個物の病害虫とその官理	植物の繁殖技術				
	せかりましづぜん	が果的な植栽計画と美学的な造園デザインを 作成する。	1 植栽デザインの原則	デザインコンセプトの開発				
4	植栽計画とデザイン		2 植物の色彩、形、テクス チャの使用	植物選定における美的配慮				
			3 視覚的バランスと機能的配置	植栽計画の具体的な実行	E 行			
	1. 十二声 1. 甘 ////	造園における土木工 事の基礎と施工技術を 学ぶ。	1 排水システムと基礎の構造	排水と基礎設計の計画				
5 土木工事と基礎作成			2 石積みと舗装技術	石と他の自然素材の施工技術	技術			
			3 土木工事の安全管理	全な作業環境の維持				
		造園に使用される主要 機器の操作 な機械と機器の操作方 法を習得する。	1 适園用機械の種類と機能	機械操作の正確な技術	ナンス			
6	機械と機器の操作		2機械操作の基本と安全プロトコル	定期的な機械メンテナンス				
			3 ディング 緊急時の機械トプブルシューディング					
	ル 조し夢疵シュテ	テ 効率的な水管理と灌漑 システムの設計と実装 を学ぶ。	率的な水管理と灌漑 1 灌漑システムの種類と設計 灌漑システムのカスタマイズと設置					
7 水系と灌漑シスム			2 水の持続可能な利用と管理	水資源の効率的な利用				
			3 灌漑システムのインストー ルとメンテナンス	灌漑システムの保守と改善		<u> </u>		
		造園における環境保護 続可能性 と持続可能性の原則を 理解し実践する。						
8	環境と持続可能性		日 付続り配性の原則を 2 技術 対称り配体質性の選択されば 日解し実践する				2	
			3 然環境の保全 生態糸と調和する遺園デザイン					
		植物の健康を保つため 骨虫管理 の病害虫管理技術を習 得する。	1 病害虫の識別方法	病害虫の早期発見と診断	•			
9	植物の病害虫管理		2 予防的管理措置 3 病害虫対策の化学的および	予防的治療プログラムの実施				
			5 生物的方法	環境に優しい病害虫管理		<u> </u>		
	Library NC	勿学 植物の分類と生理	1 主要な植物群の分類 前物の生理プロセス(光合	植物の分類方法の理解				
10 植物学	植物字		成、呼吸)	植物生理の基本知識				
			3 植物の成長条件とその管理	植物の健康管理技術		<u> </u>	-	
1.1	1.标兴	美学 土壌の性質と管理	1 土壌の種類と特性	土壌の分析と評価		1		
11	土壌学		2 土壌改良技術	土壌改良方法の適用		1		
			3 水はりと肥沃及の評価	植物の成長に適した土壌の選定		-		
1.0	**用ごヸノン	* 18 *	1 形、形状、質感) 。色彩の使用と心理的影	デザイン原則の適用				
13	造園デザイン	12 垣風アリインの基本 2 郷 巴杉と植物の選択				2		
			□ _{の利用} 1 植物の植え付け方法。	効果的な空間配置の計画 植物の植え付けと配置計画。		+	-	
13	植物の植え付けと		植え付け技術と					
13 管理	管理						1	
		造園に使用される主要 な機械の操作方法と保 守を学ぶ。	1 主要な造園機械とその機 造園機械の安全が操作			+		
1.4	造園機械の操作		1 能。 2 機械操作の基本。	基本的な機械保守。				
14	AE KDIDXIM V / J来 F		。			1		
			3 シューティング。 1 造園に用いる主要な機械の	造園機械の安全操作		\vdash		
15	造園機械と工具の	造園作業に必要な機械 と工具の安全な使用方	1 紹介 2 機械の操作とメンテナンス	基本的な機械メンテナンス		1		
10	使用	と工具の安全な使用方 法を学ぶ。	3 工具の選択と保管方法 効率的な工具使用技術			1		
		 フォーマンス評価、3. その他		カプログルム 本文区/日区門		1	Щ	

評価方法:1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考等